

令和4年度丹波市立北小学校 学校経営方針

教育目標

未来に向かって、一人ひとりが輝く北っ子の育成

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

これからの時代は、予測困難な時代といわれています。何が起こるかわからない時代だからこそ、子どもたちには、困難を乗り越え、未来に向かって進んでいく力を付けてほしいと願います。そのために、自己肯定感を高め、子どもたち一人ひとりが自信をもち、それぞれの活躍できる場を作ることが大切です。未来に向かって、子どもたち自身が考え動き、仲間や地域とつながり、挑戦し続ける児童を育成していきます。

教育推進の重点

- 主体的・対話的で深い学びのある授業と考え動く特別活動の充実を図ります
- 児童との絆づくり・居場所づくりを進め、安全・安心な学校を推進します
- 地域と協働し、地域も学校も元気になる取組を推進します

めざす児童像

- 自ら考え動き、学びを深める子（自主・自律）
- 互いの良さを認め合える子（協働）
- 未来に向けて、たくましく生きる子（創造）

めざす学校像

- 学ぶ感動、集う楽しさ、働く喜びのある学校
- 保護者・地域社会の期待に応え、信頼される学校
- ふるさと《さちよ》の「ひと・もの・こと」に誇りをもてる学校

めざす教師像

- 課題に対し、主体的・協働的・組織的に解決しようとする教師
- 教育の専門家として確かな力量を高めようとする教師
- 自己管理能力（タイムマネジメント）の向上を図る教師

学校運営協議会とのさらなる協働

- 地域の教育資源（人材・自然・施設等）の効果的な活用
- 学校の教育活動への地域の積極的な参画推進
具体的な方策



自ら考え動き、学びを深める子

- ◎ 主体的・対話的で深い学びのある授業の創造
 - ・主体的に取り組み、対話を通して学びを深める授業を実践します。
 - ・特別活動の充実を図り、子どもたちが自ら考え動き、自分たちの力で進めていく児童会、委員会活動、学級会活動を推進します。
 - ・学びを深めるノートづくりに取り組み、能動的に学習に取り組めるようにします。
 - ・高学年の教科担任制導入に伴い、教科の授業改善を図り、学力向上を目指します。
- タブレットの活用（個別最適な学びと協働的な学び）
 - ・タブレットの日常的な活用を図っていきます。
 - ・プログラミング教育を充実させ、新しい時代に生きる子どもたちの育成を図ります。
- 言語活動の充実（豊かな表現力）
 - ・読解力の向上を図るとともに、一人ひとりが表現力を身に付けを、自信につなげます。
- 基礎学力の定着、補充学習の充実
 - ・「スキルタイム」「放課後がんばりタイム」「のびのび教室」などで、基本的な学力を身に付け、やる気を引き出せるようにします。
 - ・図書室の充実、委員会活動、すきま読書、給食待ち時間の読み聞かせなど、様々な方法で、本に親しませ、子どもたちの読書活動を推進します。
- 家庭学習の充実
 - ・家庭学習においても、主体的に取り組めるように進めていきます。
 - ・家庭での読書の推進を図り、保護者とともに「親子読書」を行います。



到達目標

- 学校での勉強が分かると回答する児童 90%以上
- 宿題の他に何か勉強をしている児童 50%以上

互いの良さを認め合える子

- ◎ いじめ・不登校の未然防止と早期対応
 - ・いじめや不登校の解消に向けて、居場所のある学級づくり、大人や仲間との絆づくりをすすめ、児童の自己有用感・自己効力感を醸成します。
 - ・児童の状態を把握し、おかしいと思った時に情報共有と早期発見をめざします。
 - ・いじめの積極的認知による解消率 100%をめざします。
 - ・教科担任制導入に伴い、多くの教師で多角的に児童の状況を把握し早期発見をめざします。
- ◎ 一人ひとりのニーズに応える支援
 - ・通常学級においても特別な支援を必要とする児童が在籍していることから、授業のユニバーサルデザイン化をすすめ、「わかった・できた」といえる授業を進めます。
 - ・「子どもの力を最大限に伸ばすこと」を目標に、教職員がチームとなり、全員できめ細やかな支援・指導を推進します。
 - ・小1 プロブレムを解消し、こども園との円滑な接続を図るためのスタートカリキュラムを行い、支援の必要な児童もスムーズに学習に向かえるようにします。
 - ・保護者の思いを受け止め、共に考える姿勢をもち、SCやSSW、丹波市教育支援センター等と連携して最善の方法を探っていきます。
- 生活指導の充実
 - ・全校生が気持ちよく朝を迎えられるように、あいさつ習慣の向上を図ります。
 - ・「新しい生活様式」を遵守し、安心・安全な学校生活を心掛けます。
 - ・清掃活動を通して、しんどいことも乗り越える力や最後まで責任を持って取り組む力を身に付けます。
- 人権教育の充実
 - ・ふれあい校区事業を進め、地域と連携した人権教育の推進を図ります。
 - ・人権参観日や人権発表会を通して、人権問題に向き合う子を育てます。
- たんばふるさと学の推進、体験活動の充実
 - ・カリキュラムマネジメントの推進を図り、地域の参画・協働を進めます。
 - ・すべての学年においてゲストティーチャーとの体験学習を充実させます。

到達目標

- 学校に行くのがたのしいと回答する児童 90%
- お子さんを通わせたい学校となっていると回答する保護者 90%
- 学校で友達と仲良くできていると回答する児童 90%



未来に向けて、たくましく生きる子

- ◎ 体育・スポーツ活動の充実
 - ・全校で取り組む体幹づくりを継続し、けがの予防や授業中の正しい姿勢を保持できるようにします。
 - ・体育授業の充実による体力・運動能力の向上を図ります。
 - ・昼の時間・休み時間の遊びを奨励します。(縦割り班遊び・ジャンボ遊び)
- 基本的な生活習慣の定着
 - ・時間管理能力の向上を図り、早寝・早起き・朝ごはん、歯磨き、テレビ・ゲームの時間など、家庭と連携し、規則正しい生活ができるようにします。
 - ・スマホ・ゲームの適切な付き合い方ができるようにします。
 - ・「北小だより」、学校ホームページによる情報を発信し、学校が身近に感じられるようにします。
- 食育をはじめとした健康教育の充実
 - ・ランチルームでの学校給食を活用し、食に関する指導や食品ロスの取組(完食を目指す)の充実を図ります。
 - ・食物アレルギーへの対応を徹底します。
- 「自分の身は自分で守る」を意識した保健・安全・防災教育
 - ・「かもしれない」を意識した危機管理を職員だけでなく、児童も持てるようにします。



到達目標

- 家庭でタブレットのルールを守り、計画的に過ごせていると回答する児童 60%
- 交通ルールを守って安全に登校できていると回答する児童 100%

課題に対し、主体的・協働的・組織的に解決しようとする教師

- 全職員が一つとなって、困難を乗り越えるチーム力
 - ・風通しのよい職場をめざし、「報・連・相」の徹底を心掛けます。
 - ・職員室が子どもたちの話題であふれ、全員で児童を見守る体制を作ります。
 - ・職員同士、教室での困ったことも話ができ、相談しやすい雰囲気をつくります。
- 業務改善の推進（チームで進める業務改善）
 - ・職員、一人ひとりがワークライフバランスをめざします。
 - ・担当が子どもと向き合う時間をチームで確保していきます。
 - ・教師自身が人生の楽しみを見つけ、ゆとりや幅のある教育をめざします。
 - ・**教科担任制を充実させ、業務改善を図ります。**

安全で安心な学校づくり

- 子どもの安全を守る体制
 - ・PTAや地域と連携した見守り活動（登下校指導）を実施します。
 - ・セーフティーたんば号による校区パトロールを行います。
 - ・「子どもを守る110番の家・店」との連携を図ります。
- 安全管理、安全教育、防災教育
 - ・安全点検（施設、遊具）、交通安全教室（3年生）を実施し安全への意識を高めます。
 - ・避難訓練、児童引き渡し訓練（大雨・強風等への対応）を通して、危機管理体制の確立、危険回避能力の育成を図ります。
- 学校運営協議会、PTAとの連携
 - ・安心安全チームの活動を推進します。

地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の運営
 - ・学校経営方針への理解と目的の共有化を図ります。
 - ・地域の想いを受け止め、子どもを育成する取組を推進します。
- 地域の教育資源（人材・自然・施設等）の効果的な活用
 - ・地域教育資源（ひと・もの・こと）の開発を進めます。
 - ・クラブ活動、行事など、地域とともに行う体験活動を推進し、郷土愛をはぐくみます。
- 学校の教育活動の積極的な公開と地域の参画推進
 - ・**学校だけではなく地域も元気になる取組を展開します。**
 - ・オープンスクールを充実させ、子どもたちの学びを地域や保護者とともに見取ります。
 - ・さくら連絡網や学校ホームページを活用し、積極的に情報公開を行います。

かがやく北っ子イメージ図

地域
保護者
学校

夢をもつ

やさしい

学校
大好き

やさしい

元気

素直

たくましさ

自律・創造・協働

たくましさ

たくましさ

自分が好き
(自己肯定感)

やさしさ
(思いやり)

素直

元気

たくましさ



指導・
支援・
評価言

